

1. 教科の目標

<ul style="list-style-type: none"> 身近に見られる動植物を比べながら調べ、生物を愛護する態度を育てるとともに、生物の成長の決まりや体の作りなどの見方や考えを養う。 光 電気 磁石を働かせたときの現象を比較して調べ、それぞれの性質についての見方や考え方を養う。 日なたと日かげの地面を比べ、太陽と地面の様子との関係についての見方や考え方を養う。

2. 到達目標

観点	自然事象への関心・意欲・態度	科学的な思考	観察・実験の技能・表現	自然事象についての知識・理解
目標	自然事象に興味・関心を持って追求し、生物を愛護するとともに、見出した特性を生活に生かそうとする。	自然事象を比較しながら問題を見出し、差異点や共通点を捉え、問題を解決する。	簡単な器具や材料を見つけたり、使ったり、作ったりして観察、実験やものづくりを行い、その過程や結果をわかりやすく表現する。	生物の成長の様子や体のつくりには決まりがあることや光、電気および磁石には決まった性質があること、太陽と地面の様子には関係があることなどを理解している。

3. 年間指導計画

月	学習内容	学習のねらい
4	たねをまこう	・植物の育ち方を調べるためにたねをまき、継続して世話や観察をすることができる。
5	チョウをそだてよう	・昆虫を育てて、成長の順序の変化をとらえることができる。 ・昆虫の体のつくりを調べ、そのしくみをとらえることができる。
6	植物のつくりとそだち	・春にたねをまいた植物の成長の様子をとらえることができる。 ・植物の体は、根・茎・葉からできていることをとらえることができる。
7	出かけよう自然の中へ	・野外での観察方法を学び、草むらなどの昆虫のすみかや食べ物を調べることができる。
9	こん虫をさがそう 植物の一生	・昆虫の体のつくりには、種類によって特徴があることをとらえることができる。 ・昆虫には、植物を食べたり、それをすみかにしたりして生きているものがあることをとらえることができる。 ・これまで育ててきた植物の観察を通して、成長の順序のきまりをとらえることができる。
10	かげのでき方と太陽の光	・鏡などを使って、日光を反射させ、光の進み方を調べることができる。 ・日陰の位置の変化を調べ、影のでき方と太陽との関係をとらえる
11	あたたかさや太陽の光	・日なたと日陰の地面の様子を比べ、日光によって地面が暖められ、日なたと日陰では地面の暖かさや湿り気の違いがあることをとらえることができる。
12		・日光を物に当てると、物の明るさや暖かさが変わることをとらえることができる。
1	電気であかりをつけよう	・乾電池に豆電球などをつなぎ、電気を通すつなぎ方・通さないつなぎ方や、電気を通す物・通さない物を調べ、電気の回路についてとらえることができる。
2	じしゃくのふしぎをさぐろう	・磁石を使い、磁石に付く物や磁石の動きを調べ、磁石の性質についてとらえることができる。
3	おもちゃランドをひらこう	・電気や磁石の性質を利用したおもちゃを作ることができる。

4. 評価の観点・方法

<ul style="list-style-type: none"> 次のような方法で評価していきます。
<p>発言内容 ノートのまとめ方 プリント テスト 学習態度 行動観察 ワークシート 取り組む様子 観察記録 発表 話し合う様子</p>

5. 保護者の皆様へ

<p>理科は、3年生から新しく加わる学習です。身近な自然についての学習が中心となっています。生き物を育てたり、日光や磁石、電気の学習をします。実験で自分が調べたいものを家から持たせていただくことがあります。その際はご協力をお願いします。</p>
--